





# 第二一回 全国女性消防操法大会の開催

平成二五年一〇月一七日(木)、神奈川県横浜市において、第二一回全国女性消防操法大会が開催されました。本大会は、女性消防団員及び自主防災組織の女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって地域における消

防活動の充実に寄与することを目的として、隔年で開催されています。台風二六号の影響で前日のリハーサルが中止となるなど、大会開催が危ぶまれましたが、当日は予定どりの開催となりました。本大会においては、迅速、

確実かつ安全に行動できるように、日頃から訓練を重ね、消防操法技術の習得に励んでいる女性消防隊の中から、各都道府県の代表として四七隊(一隊七名)が参加し、兵庫県からは、丹波市女性消防隊が代表として軽可搬ポンプ操



丹波市女性消防隊の皆さま

また、来場者に女性消防団員の幅広い活動に理解を深めていただくため、アトラクションとして、奈良県奈良市消防団広報指導分団(やまとなどしこ隊)による応急手当の手順を体操にした「やまとなどしこ体操」が披露されました。

前回の二年前は東日本大震災の影響で東北三県が参加できなかったことから、四年ぶりに全国の代表が一堂に会して実施され、見事に宮城県の大和町女性消防隊が優勝されました。

丹波市女性消防隊は惜しくも入賞はなりませんでしたが、各県消防隊から盛大な声援を受け、日頃の練習の成果を発揮して大いに活躍していました。

大会日時及び場所  
日時：平成二五年一〇月一七日(木)  
九：三〇～一五：一〇  
場所：横浜市消防訓練センター

### 大会次第

- 一、選手団入場
- 二、開会式  
日本消防協会旗入場  
開会宣言  
国旗掲揚  
優勝旗返還  
主催者挨拶  
来賓祝辞  
歓迎の辞  
競技上の注意  
選手宣誓
- 三、操法開始宣言
- 四、休憩
- 五、操法終了
- 六、アトラクション
- 七、表彰式  
審査結果発表  
表彰
- 八、閉会式

### 大会結果

- |     |               |
|-----|---------------|
| 優勝  | 宮城県 大和町女性消防隊  |
| 準優勝 | 静岡県 湖西市女性消防隊  |
| 準優勝 | 熊本県 菊池市女性消防隊  |
| 優秀賞 | 埼玉県 毛呂山町女性消防隊 |
| 優秀賞 | 岐阜県 下呂市女性消防隊  |
| 優秀賞 | 千葉県 浦安市女性消防隊  |
| 優秀賞 | 鳥取県 鳥取市女性消防隊  |
| 優良賞 | 東京都 町田市女性消防隊  |
| 優良賞 | 佐賀県 基山町女性消防隊  |
| 優良賞 | 長野県 南箕輪村女性消防隊 |
| 優良賞 | 島根県 吉賀町女性消防隊  |
| 優良賞 | 北海道 登別市女性消防隊  |





# 第三二回全国消防殉職者慰霊祭

(公財) 兵庫県消防協会



平成二五年九月一二日(木)、日本消防会館ニッショーホールにおいて、第三二回全国消防殉職者慰霊祭が厳粛に執り行われました。本慰霊祭において合祀されている御霊は、生前に郷土愛護の精神に燃え、住民の生命、身体及び財産を災害から守るため、身を挺し消防・救急活動を行い不幸にも殉職された全国の消防団員・職員及び一般協力者の方々です。祭壇には、今回あらたに当県の一柱を含む、八柱の御霊が合祀され、あわせて五、六

七九柱が奉納されました。当県からは、岸谷会長をはじめ新合祀遺族四名が参列し、御霊の奉納が行われ、黙祷を捧げた後、秋本日本消防協会長の式辞、安倍内閣総理大臣から追悼のことばに続き、遺族代表として、姫路市の山本雲一様が追悼のことばを述べられました。その後は参列者が故人の冥福を祈り献花を行い、江戸消防記念会から鎮魂の歌(木遣り)が披露され、式典は厳かに滞りなく終了しました。

## 秋季全国火災予防運動の 実施 消防庁

### 実施期間

二月九日(土) から  
二月十五日(金)

### 目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とします。

### 重点目標

- ① 住宅または地域における防火対策の推進  
暖房器具等の火気を多く使用する時季を迎えるに当たり、火気の取り扱いに一層の注意を図るとともに、住宅用火災警報器の設置、維持管理の方法について周知する。
- ② 社会福祉施設、病院における防火安全の徹底  
自主点検や円滑な自衛消防活動の推進を図り、火気使用設備及び器具並びに避難通路及び消防設備の適正な維持管理を図る。
- ③ 高圧ガス消費施設の防火対策の推進  
アセチレン等の高圧ガスを使用する施設の事故防止及び使用者の高圧ガス保安法の遵守を図る。
- ④ 車両防火対策の推進  
火災予防及び危険物の運搬車両の安全確保を図る。

平成二五年度  
全国統一防火標語

『消すまでは  
心の警報  
ONのま』



- ・操法最適ホース : コンペVシリーズ
- ・小型動力ポンプ : ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・消防用資機材全般



## 西垣消防器具製作所

669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461

TEL:(079)672-3131

FAX:(079)672-3132

E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp



平成25年11月8日に発生した台風30号により甚大な被害が発生したフィリピン共和国を支援するための義援金を募集しています。被災地への温かな支援をお願いいたします。

募集期間:平成26年2月28日(金)まで

募集方法:①兵庫県庁、兵庫県内の各県民局、

市町庁舎等に設置の募金箱

②郵便振替(別途振込手数料が必要)

郵便振替口座:00950-9-165274

口座名義:平成25年フィリピン台風兵庫県義援金

募集委員会

※税法上の優遇措置(特定寄附控除)の対象ではありません。

問い合わせ:フィリピン台風兵庫県義援金募集委員会事務局

(兵庫県防災企画課内)

TEL:078(341)7711(内線5386)

FAX:078(362)9914



取材:(公財)兵庫県消防協会

# 第78期 初任教育 査閲

## 半年間の訓練成果を披露!

### 第78期初任教育生スローガン、「兵庫の未来へ 一線延長」を胸に消防人生スタート!!



真剣な表情で講評を聞く初任科教育生達

平成二五年九月二一日(土)、兵庫県消防学校にて第七八期初任教育査閲が執り行われました。

四月に入校した県下二一消防本部一六六名が、半年間の厳しい訓練を経て、この査閲の日を迎えました。

この日は入学式の時よりも精悍で逞しくなった姿で、半年間訓練を重ねてきた成果を保護者の皆さんや所属消防本部の幹部の方々へ披露しました。

分列行進から始まり、それぞれの班に分かれて、機器取扱訓練や救助訓練、放水訓練など、学んだ技術を余すところ無く発揮しました。

またこの半年間、自己鍛錬だけでは無く、つらく苦しい時間を共に過ごした仲間と、固い絆を結ぶこともできました。それを表すように、第七八期初任教育生は「兵庫の未来へ 一線延長」というスローガンを掲げました。このスローガンは、彼らの固い絆を一本のホースに乗せて、兵庫の未来のために、住民を守るという真つすぐな気持ちを表しているとのこと。

彼らのその「絆」が兵庫の未来の「安全」と「安心」につながります。

逞しい姿に成長した第七八期初任教育生の皆さんは、九月二七日(金)に卒業式を終え、消防人生のスタートを切りました。これからは、人から「守られる」立場ではなく、人を「守る」立場になります。それぞれの所属で現場の最前線に立つことになりませんが、自身の命も大切に、職務にまい進していただきたいと思えます。



救助訓練においてスローガン披露



岸谷会長による励ましのことば



卒業式



消防活動応用訓練



放水訓練



# 防火対象物に係る表示制度の実施についで

消防庁

## 【背景】

平成二四年五月に死者七名、負傷者三名が発生したホテル火災を受け、消防庁においては去年度からホテル火災対策検討部会を開催し、ホテル・旅館等の火災被害拡大防止対策等に関する検討を進めてきました。

ホテル・旅館等は不特定多数の者が利用する就寝施設であり、利用者はその地域の住民に限らず、全国から集まるため、建物の防火安全に関する情報を有していないことが多いです。

不特定多数の者を収容する建物の火災による惨事を防止するためには、利用者に対して消防関係法令の適合状況に加え、重要な建築基準への適合性の情報提供をし、利用者の選択を通じて防火安全体制の確立を促すことが重要であります。

そこで、平成一五年度まで実施していた旧適マーク制度を再評価し、防火対象物に係る表示制度の運用を開始することになりました。

## 【表示対象物】

防火・防災管理上の表示基準に適合している旨の表示をする対象物は、収容人員が三〇人以上、かつ、階数が三以上のホテル・旅館等又はホテル・旅館等を有する複合用途の建物

## 【表示基準】

● 防火・防災管理上の表示基準が、消防関係法令に適合していること

● 消防用設備等の設置状況等が、消防関係法令に適合していること

● 建築基準法令に基づく防火に関する基準（構造・防火区画・階段・避難施設等）に適合していること

## 【実施時期】

平成二六年四月一日から、ホテル・旅館等の関係者の申請、消防本部及び消防署における受付・審査開始  
平成二六年夏頃を目途に表示マークの掲出及び使用開始



表示マーク (金)



表示マーク (銀)

## 備考

- 1 様式の大きさは、日本工業規格B4とする。
- 2 色彩は、地を紺色、その他のもの（消防本部名を除く）にあたっては、それぞれ金色・銀色とする。

## 普通救命講習受講

淡路地区

# 消防団。リンクアップ



普通救命講習会の受講風景

平成二五年九月八日（日）、洲本市消防団員三五名は、淡路消防ビル五階大会議室にて、淡路広域消防事務組合洲本消防署救急救命士四名の指導の下、普通救命講習Ⅰを受講しました。この講習会は若手団員を中心に毎年受講しており九〇〇名余りの団員はほぼ受講済であります。心肺蘇生

法・AEDの使用手順、その必要性を学び、また大出血時の止血法、気道異物による窒息時の適切な対応法を習得し、全員レックスプランの習Ⅰ修了証を受領しました。心臓が停止して三分で死亡率は約五〇％、しかし救急車が到着するまで全国平均約八分間かかることです。救急車が来るまで手をこまねいては、助かる命も助けられません。そばに居合わせた一人一人が救命処置を行えるよう心肺蘇生法、AEDの使用方法を身に付けて、「市民」から「救急隊」へまた「救急隊」から「医師」へと命のパトンを引き継ぐ「救命のリーダー」を途切れさせないよう

何か一つでも行動に移すことの大切さを学びました。また、九月一日（日）には、淡路市一宮ふるさとセンターにて、津名一宮分署救急救命士五名の指導の下、淡路市一宮地区消防団員五二名が同じく普通救命講習Ⅰを受講しました。

## ◆小型ポンプの部【団体賞】

優勝 灘第一分団第二部

準優勝 三原志知分団

◆ポンプ車の部【団体賞】

優勝 勝 神代第一分団

準優勝 阿万特設分団

また、個人賞も設けられ優勝チーム以外の団員からも多数選ばれました。ポンプ車部門優勝の神代第一分団にとっては、昨年の第二三回全国消防操法大会に兵庫県代表として出場しましたが、力を発揮することができませんでした。そのリベンジを果たすためにも兵庫県大会連覇を目指し、訓練に励み更なるレベルアップを図ります。

## ◆南あわじ市消防団

平成二五年六月一六日（日）、南あわじ市三原川河川公園で、小型ポンプの部八分団、ポンプ車の部六分団が出場し、第九回南あわじ市消防操法大会が開催されました。

と料理で、ゴルフでは、日本全国津々浦々と回り、料理は、買い物から調理まで全て自分でやられ、MY冷蔵庫を完備するといったこだわりがあります。また、お酒をこよなく愛し、酒の席では、昔の悪事を紳士な口調でお話ししてくれます。

団長さんの口癖は、「消防団のステータス向上」で、就任して直ちに、火災現場活動規程の見直しを図り、現場活動の充実強化に取り組みされて

## わが町の団長さん

### 「消防団のステータス向上」

尼崎市消防団長 島田 幸司



尼崎市消防団は、昭和三七年七月に、それまで六つの消防団が一消防団に統合され誕

生し、市域、東西八・三キロメートル、南北十一・五キロメートル、総面積五〇・二七平方キロメートル、人口約四五十万人の安全と安心を守るため、日夜消防団活動に努めています。

島田団長は、昭和四四年に入団され、情熱と根性で、消防活動に精励され、その実績と人望の厚さにより、平成二五年四月に第五代の消防団長に就任されました。

団長さんの趣味は、ゴルフです。また、定期的に危険予知訓練を実施し、消防団員の公務災害ゼロに力を注いでおられます。



# 消防団ピックアップ

Pick Up!

## 地域と密着した消防団をめざして

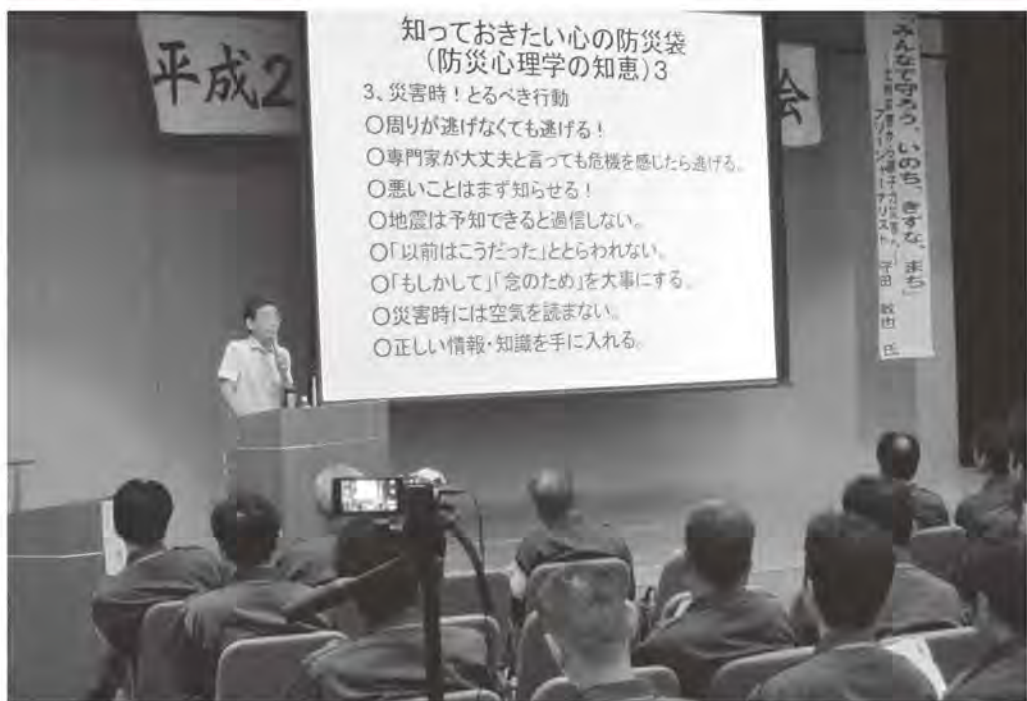
### 篠山市消防団

篠山市消防団は、旧多紀郡篠山町・西紀町・丹南町・今田町の四町合併に伴い、平成一一年四月一日に発足しました。現在、一団二一分団、団員定数一、二五三名で活動しています。

装備としては、水槽付ポンプ自動車八台、消防ポンプ自動車一台、小型動力ポンプ

付積載車四九台を保有し、篠山市民の安心安全な暮らしのために、日夜積極的に活動を行っています。

篠山市消防団では日々の点検・訓練活動に加えて、平成二五年度は消防団員教育訓練として、篠山市消防本部から講師を招いて礼式訓練を実施しました。



防災研修会の様子

知っておきたい心の防災袋  
(防災心理学の知恵)3  
3. 災害時！とるべき行動

- 周りが逃げなくても逃げる！
- 専門家が大丈夫と言っても危機を感じたら逃げる。
- 悪いことはまず知らせる！
- 地震は予知できると過信しない。
- 「以前はこうだった」ととらわれない。
- 「もしかして」「念のため」を大事にする。
- 災害時には空気を読まない。
- 正しい情報・知識を手に入れる。



礼式訓練

礼式訓練は、班長以上の約二五〇名を対象に、礼節を明確にして規律を正し、団員の団結を強固にし、分団一体となつて消防の責務を完遂することを目的として実施しました。この訓練で培った経験を、今後はすべての団員に継承し、規律ある活動に努めてまいります。

篠山市は福井県高浜町の関西電力高浜原発から約五〇キロに位置しています。有事の際には、消防団が地域の安全確保に必要不可欠な存在であることから、原子力に対する知識と理解を深め、有事の際の心構えを身につけることを目的として防災研修を行いました。放射能という目に見え

ない脅威に対して、どのようにして向き合っていくかということを念頭に置いて、地域の方々の安心・安全な生活を守るために、この研修を今後の活動に活かしていきたいと考えております。

九月の豪雨及び台風一八号は、篠山市内に大きな被害をもたらしました。市内各所で同時多発的に発生する災害に對して、分団間で連携を密にしながら対処し、被害の減少に努めました。この経験から得た反省点・改善点を踏まえた上で、今まで以上に地域の方々と密着した消防団として、決意を新たに活動してまいります。

## 稲美町防災訓練

平成二五年一〇月二七日に県下最大のため池、加古大池において、稲美町防災訓練が実施されました。山崎断層帯及び草谷断層を震源とする震度七の地震が発生したことを想定して行われたこの訓練は、一九機関、約四五〇名が参加し、避難所の開設訓練や給水訓練、消火訓練、加古川消防署や加古川警察による車両からの救出訓練、消防団による積み土のう訓練などが行われました。今年度は、新たに福祉避難所が追加されたことから『福祉避難所開設訓練』を実施し、合せて福祉避難所で特に有効に活用できると考えられる『ダンボールベッド』設置訓練も実施されました。

稲美町消防団は、これらの訓練の中で、自治会・自主防災会を対象とした初期消火訓練の指導にあたりました。この訓練では、大きく分けて、①バケツリレー、②消火器による消火訓練、③消火栓からの消火訓練があり、各訓練において、器具の取扱いや注意事項などを実演を交えて指導しました。また、稲美町は全国有数のため池密集地帯であり、町内に八八のため池が点在していることから、例年、消防団による「積土嚢訓練」

## 稲美町消防団

を実施しています。この訓練では、ため池の堤防からの漏水を想定して、約一〇〇個の土のうを積み、ため池の堤防の決壊を防ぐ『積み土のう』を実施しました。

訓練の最後には、大規模火災に對するするための、一斉放水訓練が実施され、稲美町消防団の四三の消防車と加古川市消防本部の梯子(はしご)車が連携して加古大池に向かって一斉に放水を行いました。



防災訓練の様子

近年、災害関連のニュースでは、『これまでに経験したことのない』または、『数十年に一度の』といった言葉が数多く聞かれ、気象庁では、新たに特別警報の発表が開始されました。東日本大震災はいまだに記憶に新しく、近い将来の発生が危惧されている。東南海地震など、消防団の役割は今後もますます重要となつていきます。稲美町消防団では、加古川市消防本部や稲美町と連携しながら防火・防災の活動を行います。



# われら 若手消防団員

## 消防団員になって

香美町消防団  
小代特設第二分団

稲尾 直人



私が在籍している小代特設第二分団は、幅広い年齢層の団員で構成されていますが、皆の仲が良く、消防団活動でも団結力を発揮して地域のために頑張っています。

私は、消防団に入団して強く印象に残っているのはポンプ車操作です。初めて操作を見た時に「こういう努力があるから地域の方々が安心して暮らせるんだな」と感じたのと同時に「自分にもこんなことができるのだからか」という不安な思いがありました。消火活動一つにしても、操作方法、取り扱いなどの経験や知識が無ければ、有事の時に何も役に立てないというのを痛感しました。

そんな折に、ポンプ車操作の機関員に抜擢されました。訓練を積み重ねる

につれて以前感じた不安も無くなり、一人の番員として、与えられた役割をしっかりとやり遂げる、ということを考えてられるようになりました。先輩方に細かいところまで指導して頂いたり、選手の皆と何度も夜遅くまで訓練したり、撮影した映像を見ながら納得するまで話し合ったりと、操法を通じて団員同士の「強い絆」が形成されている事にも気づきました。大会の結果よりも、操作方法や礼式・規律など団員として必要なことを身につけられたことがとても貴重な経験となりました。しかし、まだまだ未熟な部分がたくさんあるので、これからも家族や地域のためにも、安心・安全を守るべく消防団活動に日々励みたいと思います。

# がんばってます、 女性消防団員

## 全国女性消防操法大会を経て

赤穂市消防団 森山 登世



赤穂市消防団女性部は、平成二十一年第一九回全国女性消防操法大会への出場を契機に結成された女性消防隊のメンバーを中心として平成二十二年に発足しました。現在は大学生からアラフォオの団員十数名で活動しています。

主な活動としては、防災総合訓練や林野火災訓練での炊き出し訓練を始め、火災予防行事や救急フェア等における住宅用火災警報器の設置PRや、応急手当の普及啓発活動

赤穂市消防団女性部は、平成二十一年第一九回全国女性消防操法大会への出場を契機に結成された女性消防隊のメンバーを中心として平成二十二年に発足しました。現在は大学生からアラフォオの団員十数名で活動しています。

主な活動としては、防災総合訓練や林野火災訓練での炊き出し訓練を始め、火災予防行事や救急フェア等における住宅用火災警報器の設置PRや、応急手当の普及啓発活動

赤穂市消防団女性部は、平成二十一年第一九回全国女性消防操法大会への出場を契機に結成された女性消防隊のメンバーを中心として平成二十二年に発足しました。現在は大学生からアラフォオの団員十数名で活動しています。

主な活動としては、防災総合訓練や林野火災訓練での炊き出し訓練を始め、火災予防行事や救急フェア等における住宅用火災警報器の設置PRや、応急手当の普及啓発活動



平成25年6月 女性消防団員技術研修会

赤穂市消防団女性部は、平成二十一年第一九回全国女性消防操法大会への出場を契機に結成された女性消防隊のメンバーを中心として平成二十二年に発足しました。現在は大学生からアラフォオの団員十数名で活動しています。

主な活動としては、防災総合訓練や林野火災訓練での炊き出し訓練を始め、火災予防行事や救急フェア等における住宅用火災警報器の設置PRや、応急手当の普及啓発活動

# 地域のお知らせ

## 宝塚市

### 西谷地域へお越しく下さい。

宝塚市は、昭和二十九年四月一日、宝塚町と良元村が手を結び、宝塚市が誕生しました。翌三〇年には隣接の長尾村と西谷村を合併し、現在の市域がほぼ確定しました。南北に細長く、市域面積一〇・八九九平方メートルの都市です。宝塚歌劇・手塚治虫記念館・阪神競馬場等には、年間約八七万人の観光客が全国各地から訪れています。また、平成二六年度は、宝塚歌劇百周年・手塚治虫記念館開館二〇周年・市制六〇周年の宝塚トリプル周年となっています。現在、その記念行事として、様々な催しを計画しています。

市域には、住宅地が広がる

### 長谷牡丹園

宝塚市と牡丹の歴史は古く、二七年前(昭和三年)に福島県の須賀川へ牡丹の苗が送られ、牡丹の生産地である島根県の大根島へも葉用または観賞用牡丹として出荷されていきました。

また、明治三三年のフランスのパリで開催された万国博覧会にも宝塚市から五〇種二五〇株が出展されました。これらの歴史を受け、全国の牡丹にゆかりのある地より、里帰り牡丹や文化交流を目的とした牡丹を提供していただき、長谷地区に平成一三年四月に長谷牡丹園が開園しました。

### ダリア園

西谷地域北部の上

佐曾利地区は、全国有数のダリアの球根生産地で、秋は「ダリア花つみ園」の数万本のダリアが満開になります。「宝塚ダリア花つみ園」の開園期間は七月中旬から一月上旬です。

### 県立宝塚西谷の森公園

境野地区には、県民の文化・スポーツ・レクリエーション活動を促進する施設の一つとして、県立宝塚西谷の森公園があり、西谷地域に残された自然を二一世紀の県民の貴重な財産と捉え、守り、育て、楽しみ、学べる都市近郊型里山公園として整備されたものです。

この公園は、水辺ゾーン・湿地の復元ゾーン・かやぶき農舎・散策路・展望台・管理棟などがあります。また、公園では参加体験できる様々なプログラムも開催されています。

### 武田尾温泉

武田尾地区には、江戸時代、寛永一八年に武田尾直蔵という地元民が発見したと伝えられている、武田尾温泉があります。ここでは、そそりたつ山々と渓谷に抱かれ、四季折々の自然景観は変化と鮮やかさに富み、春から夏にかけての山菜料理や冬のぼたん鍋など、趣向を凝らした味わいを楽しむことができます。



宝塚西谷フォトコンテスト大賞作品  
撮影者 重留 博行  
【大きな空と緑のふるさと】



宝塚西谷フォトコンテスト入賞作品  
撮影者 山口 善光【ぼたん・夕立のあと】



# 地域のお知らせ

## 播磨町

### 「大中遺跡まつり」遺跡の町 播磨



ジャンボ舞ぎりによる火起こしの儀

播磨町は面積が九平方キロメートルと兵庫県下で最も小さな町です。町の南部は、海を埋め立てた人工島があり、多くの企業が操業しています。海釣りとしても人気の場所となっています。

また、町の北部には、弥生式住居跡が多く存在する国指定史跡の大中遺跡があります。ひょうごを代表する弥生時代の集落遺跡で、兵庫県立考古博物館や町立の郷土資料館も建設されています。

館内に入るとそこは考古学の世界。数千年にわたり使われ続けた土器、獲物を追った旧石器人、森に生きた縄文人、土地を拓いた弥生人など、兵庫県の歴史を彩った主役たちが迎えてくれます。海外をめざして船出した実物の古代船、播磨産の石材で造った大王の石棺など、日本中ここにしかないものが展示されています。博物館・資料館の隣には史跡公園「播磨大中国古代の村」がひろがっています。復元された住居跡に入り、本物の遺跡に身を置いて、弥生人たちのふれあいを楽しむことができます。

また周辺には、野添北公園や野添であい公園があり、喜瀬川などとともに自然に親しめる緑豊かな憩いの空間が広がっています。



火起こしの儀



近隣市町のキャラクターが集合



古代の服装での行列入場

ここで、春に「健康福祉フェア」、秋には「大中遺跡祭り」が開催され、多くの人でにぎわいます。

「大中遺跡まつり」は、毎年一月の第一土曜日に開催されます。古代の服装での行列入場、ジャンボ舞ぎりによる火起こしの儀で始まり、特設ステージでは、播磨町のイメージキャラクターの「いせきくん、やよいちゃん」を始め、近隣市町のキャラクターが集合したり、和楽器四重奏（琵琶、胡弓、尺八、琴）や幻想的なライブコンサートが開かれ大いに盛り上がります。

また子どもも古代生活体験ゾーンでは、火おこし、弓矢で狩り、古代食の試食や、まが玉づくりが無料で体験できます。他にも竪穴住居を作りました。

今年からは、はりま津波ひなんウオーキングも実施されました。

播磨町消防団は、一二分団、三六五名で組織されていますが、この祭りの警備も担当し、安全な祭りの進行に貢献しています。

町内にはJR「土山駅」と山陽電鉄「播磨町駅」があり、土山駅からは、歴史と「であい」ミュージアムロード「であいの道」が、播磨町駅からは喜瀬川沿いに、歩道が大中遺跡まで整備されていますので、皆さん是非、歴史探訪として、遺跡の町「播磨町」を歩いていただくとともに、「大中遺跡祭り」にも是非ご参加ください。

### 編集後記

朝夕冷え込む季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号では、ひょうご消防のついでに〇一三の記事を一面に掲載しております。非常に多くの方にご参加頂き、有意義なイベントを開催することができました。皆様方のご支援とご協力誠にありがとうございました。

また、今月も各地区、各支部から多数寄稿していただき、ありがとうございました。

これからの時期は、空気が乾燥し、石油ストーブ等の暖房器具を使う機会も多くなることから、火災が非常に発生しやすいとなります。火の元には十分注意し、安全で快適な生活をお送りください。

